

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 4月 8日

仕事の内容	防犯対策事業			
担当部署・課長名	防災安全	課	災害・防犯	係 課長名 東 栄一

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 6	-
【施策名】 防災・防犯体制の推進	総合計画書 (ページ)	93	

予算名	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	公安費	事業	11	防犯対策事業費
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-----	----	----	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 安全・安心なまちづくりのための事務事業	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 空き地等の雑草除去委託、庁用車運転業務員人件費、青色回転灯パトロールカー運行、東大和市行政コーナー維持、安全安心情報送信サービス運営に係る執行費。防犯資器材等の配備経費。
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市民がより安全・安心に生活できる環境を作るため、青色回転灯パトロールカー等の防犯対策業務、防犯資器材の配備を通じて、防犯活動を充実させる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 空き地等の雑草除去委託、庁用車運転業務員人件費、青色回転灯パトロールカー運行、東大和市行政コーナー維持、安全安心情報送信サービス運営に係る執行費。防犯資器材等の配備経費。
	③ そのために何をしましたか。 空き地等の雑草除去委託、庁用車運転業務員人件費、青色回転灯パトロールカー運行、東大和市行政コーナー維持、安全安心情報送信サービス運営に係る執行。防犯資器材等の適切な配備。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 空き地等の雑草除去委託、庁用車運転業務員人件費、青色回転灯パトロールカー運行、東大和市行政コーナー維持、安全安心情報送信サービス運営に係る執行。防犯資器材等の適切な配備経費。

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	円	7,781,668	7,781,668	7,761,947	
	成果指標	②の数値	円	7,781,668	7,781,668	7,791,947	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	円	7,420,022	7,781,668	7,761,947	

3 経費	事業費(実績)		円	7,420,022	7,781,668	7,761,947	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	7,227,297	7,466,281	7,510,051	
		特定財源	円	192,725	315,387	251,896	
		(うち受益者負担)	円	192,725	315,387	251,896	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	8,267,000	8,253,000	8,244,000		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	15,687,022	16,034,668	16,005,947		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大い

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成21年4月1日、東大和市生活安全条例の施行に伴い、従来より実施していた防犯活動をより充実させている。市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりに寄与することを目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 犯罪認知件数は減っているが、近年は特殊詐欺等の多様な犯罪が発生していることもあり、市民の防犯に対する意識も高まってきているため、更なる防犯活動の充実、防犯資器材の配備が望まれる。

仕 事 の 内 容	防犯対策事業			
担当部署・課長名	防災安全	課	災害・防犯	係 課長名 東 栄一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 近年は特殊詐欺等の多様な犯罪が発生していることもあり、市民の防犯に対する意識も高まってきている。			
	6 市民協働	取り組んだ	取組手法	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可） ②協議会（生活安全協議会）⑤補助（防犯協会（市・地区）への補助金交付） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 犯罪は減少傾向にあるものの、市内各地で発生している。そのため、犯罪発生に関する情報が入るまでに時間を要することがある。また、管理不全の空き地等に関して、問合せをしてくる方も手だてがなく、やむを得なく市へ助けを求めてくる。しかしながら、市においても個人の所有物のため、管理対応することはできない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 不審者等の犯罪発生について情報が入ったときは、できる限り早く安全安心情報送信サービスによる市民への周知や、青色回転灯パトロールカーによる巡回を実施した。また、管理不全の空き地等の管理を土地所有者へ促した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ・不審者情報等が入った際の流れを係内で共有しておく。 ・管理不全の空き地等を把握し、実態調査に向けた基礎資料としていく。			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・不審者等の情報が寄せられた場合は、速やかに情報収集に努め、市民に対して素早い情報発信を心掛ける。 ・空き地等の情報を収集し、できる限りの対応をする。また、30年度に引き続き、早い段階で現地調査を行い、所有者へ適正な管理の指導を行う。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・不審者情報等は先に警察署や教育委員会に入ることが大部分である。そのため情報が入るまで時間を要することから、市民への情報配信が遅れるという問題点があるため、他課との情報交換を密にしていく必要がある。 ・行政において空き屋等の所有者の情報等の取得には限界があり、その近隣に住んでいる方の周囲の環境悪化を考えると、司法面で強制力のある行為を求めたい。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。